

# 会 議 議 事 録 (抄)

会議名	専門学校東京テクニカルカレッジ 第二回 学校関係者評価委員会
開催日時	平成 27 年 11 月 20 日 (金) 18 時 00 分～20 時 00 分
会場	専門学校東京テクニカルカレッジ 地下 1 階 テラホール
参加者	外 部 委 員 : 13 名 (委員の氏名・所属等は別添資料参照) 学内関係者 : 11 名
配布資料	① 式次第 ② 参加委員名簿 ③ 前回議事録 ④ 平成 27 年度第二回学校関係者評価委員会 パワーポイント資料 ⑤ 平成 26 年度専門学校東京テクニカルカレッジ自己評価報告書 (抜粋版) ⑥ 学園の教育取り組み、学科横断企業連携授業 (リアルジョブプロジェクト) 等パネル掲示資料 ⑦ Tera Café オープンイメージ ⑧ RJP ペーパー (リアルジョブプロジェクトチラシ)
会議録	<p>1. 開会の辞・事務局紹介 (事務局) 東京テクニカルカレッジ白井企画部長の司会により開式が宣言され、配布資料の確認が行われた。</p> <p>2. 学園側関係者挨拶 学園側の関係者として、三上孝明 ( 専門学校東京テクニカルカレッジ 校長) が挨拶を行った。</p> <p>3. 委員紹介 事務局より、本日の会議予定の説明のあと、白井企画部長より委員の紹介が行われた。</p> <p>4. 議長ほかの選出 事務局提案により、本委員会の委員長並びに本会議の議長について選出が行われ、霜野隆 委員が委員長および議長に、書記として小野寺洋子 委員が選出された。なお小野寺委員は今回所用で欠席のため、事務局が書記を代行した。</p> <p>5. 開催要件の確認 事務局より委員 28 名中 20 名の参加があり、本会が成立していることが確認された。</p> <p>6. 議事</p> <p>(1) 第一号議案：平成 27 年度第一回会議議事録の確認 議長は事務局に対し、資料③に基づき前回議事録の確認を指示し説明をさせた後、これを出席者に回ったところ全員一致で齟齬がないことが確認された。</p> <p>(2) 第二号議案：前回の指摘事項とその改善点 ・前回五号議案審議内容より本年度に改訂する自己評価報告書への加筆事項に関して、卒業生の状況調査の実施状況、ならびに今後の進め方につき三上校長より報告が行われた。 その後加筆事項につき確認が行われ、全員異議なしとして承認された。</p> <p>(3) 第三号議案：平成 27 年度事業計画進捗状況報告 議長は事務局に対し、平成 27 年度における事業計画の進捗状況について報告を指示し、事務局はこれに応じて以下の様に説明を行った。 ・職業実践専門課程として、建築監督科の新規申請、ならびに Web デザイナー科から Web 動画クリエイター科への変更申請を行い、それぞれ当該課程として認定されたこと。 ・文部科学省からの受託事業「環境・エネルギー分野における中核的人材養成プログラム開発事業」につき、コンソーシアムおよび各プロジェクトの進捗状況概要についての説明。 ・リアルジョブプロジェクト (RJP) 進捗についての全体状況報告。その後、ロゴマークデザイン、ショップデザイン・空間づくり、メニュー検討の各テーマにつき担当グループの学生から詳細発表があった。 又、CG によるカフェ全体イメージのデモンストレーションの後、白井企画部長より今回学生発表のなかった情報系の進捗として、KDDI 研究所との共同研究の状況などについての報告が行われ、今後内装工事を進め、2016 年 2 月 13 日にオープンイベントを実施する旨が伝えられた。</p> <p>(4) 第四号議案：審議 (取り組みに関する意見交換) 議長は、三号議案等の説明に基づいて各委員に意見を求めたが、自ら RJP の展開について①営業時間 ②採算的にはどうなのか (事業計画) ③一般にも開放するのか④イベントとしてお客を呼ぶのか? と質問を行った。これに対し、三上校長、白井部長より ・学校法人としては一般的な営業は行わず、あくまで教育の場としての利用前提。 ・いまのところ月または週に一、二回程度のイベントに利用予定であること。 ・一般の人にも開放したいが商売という形はとれないので一般のカフェの営業とはならないこと。 ・平日の営業運用はできず看板等も外に出さないが、イベント時の採算はとれるようにしたい。 との回答があった。そのほか外部委員から以下のようなご意見、提案があった。 ・つながるというコンセプトであるが、地域コミュニティへの繋がりはどのようなものを想定しているか? 猫の里親探しにつなげて地域のコミュニティを形成した例もある。やはりいつも営業していることが望ましいのではないかと。運営については、三鷹ではシニアの人のための企業化計画促進の</p>

- 例がある。女性の学び直しの点から、卒業生の女性をフルタイムは難しいと思うがカフェに採用するなども考えられる。活動の基点としての利用の可能性を感じる。(佐々委員)
- ・良いプレゼンだったが、来年どうなっているのかが気になる。ロゴ決定も大事に進めてほしい。(渡辺委員、近委員)
- ・結果がしっかり残っていることが大切。最後に決めるためにどうするかを決めておく必要がある。テーマとコンセプトは違う。テーマはタイトルであり、コンセプトは概念である。コンセプトがずれないことが必要。とんがりかわいい、つながるひろがるどちらがコンセプト、テーマなのか？物を配置するだけでなく、たとえば中央にある階段をうまく使うとか、柱や窓の利用についてあまり考えていない。前回の議事録でコミュニケーションという言葉がでてきているが、人と接することで仕事は進む。伝えていくことが必要。(安藤委員)
- ・前回よりも進んでいるイメージである。企業連携もあり具体化している。(立田委員)
- ・プレゼン大変良かった。視覚的に訴える表現が大切で、実践的学習ができていと思う。エントランスの脇にカフェはホテルでもある。学科を超えた取り組みであり、経営的採算、外からの視覚的影響など考えてチャレンジしていると思う。これからの展開、今後が楽しみ。(濱委員)
- ・得意分野を生かして学んでいる。オープンにあたって運営という課題がある。組織を作ってこれに当たっていくことが必要と思う。(奥山委員)
- ・いろいろな学科があり、決定まではトラブルがあったと思う。学生と教員との間の情報の共有が課題と思う。(樋口委員、青木委員)
- ・アンケートでロゴを決定してきているというのが気にかかる。最後に一つに絞られると思うが、話し合いや投票で決める時にどうしてもナアナアになる。コンセプトが伝わりにくくなる。やはり作り手が明確な意思を持って決めることが必要。最後にコンセプト、気持ちを残しておくべきである。あとは学生だから・・・という気持ちで作らないこと。これがあると詰めが甘くなる。(中山委員)

学校側委員からは、

- ・RJP の中では情報処理の色が少しうすい。いろいろ使えるチリメン(基板回路)を組み込んだものを、様々な用途に利用できないかと考えている。(井坂委員：情報)
- ・当初ゆったりした…というコンセプトであったが、雰囲気が変わった。よりスタイリッシュなコンセプトでカフェでのゲームを利用考えている。(松田委員：ゲーム)
- ・CADでの図面作成、Shade、3D-CG等の作成など、学んだ内容の実践経験となった。(野上委員：建築)
- ・今回オリジナルブレンドを中心にメニュー開発を行っているが、学生はまだモノづくりの面白さを感じていない。コーヒーからリラクセス、ストレス低減という方向性で、学びのストレスを低減するものの開発検討につなげたいと考えている。(大江委員：バイオ)
- ・レイアウト図面、CAD、Shadeそしてプレゼン、さらに椅子の製作なども含め、学生は学習で学んだことが実際に活用できている実感を得られたと思う。(高山委員：インテ)
- ・ロゴマーク設定については担当した一年生は大変そうだった。その他いろいろ工夫しているがプレゼンではあまりその思いが出ていないように感じた。学科としては広報担当したが、イベントの告知や提案などさらに進める。(宮川委員：web)
- ・ごみや廃棄という点からの検討を進めたが、光、音、熱に関しても模索中である。(今野委員：環境)とのコメントがあった。

7次回目日程等について(事務局)

- ・2月13日(土)カフェオープンイベント開催予定。
- ・3月18日(金)13時30分～17時00分次回会議開催予定。

尚各科の優秀卒業研究、卒業制作の発表を実施する予定であり、評価者としてご参加をお願いしたい旨の発言があった。

8. 閉式の辞(議長)

閉会后、佐々委員より3月18日の評価の時、漫然と聞いてしまうと「よかったです」といった感想になってしまう。評価票で点数付けできるとよいので、評価票の設定をお願いしたいとの要望があった。

以上

議事録署名人

印

印

霜野議長：グラウンドオープンとのことであるが、

- ①営業的にはいつやるのか？（営業時間）
- ②メニュー採算的にはどうなのか？事業計画は？
- ③学生のみ利用なのか？一般も入れるのか？外部の人が入って良い物か迷うのでは？
- ④イベントとしてお客を呼ぶのか？

三上校長：学校法人としては一般的な営業は行わず、教育の場としての利用運営となる。

白井部長：イベントに利用したい。月または2週に一回程度のイベント、発表の場。

一般の人にも開放したいが商売という形はとれない。

上述したように一般のカフェの営業とはならない。平日の営業運用はできず、看板等も外に出さないが、イベント時の採算はとれるようにしたい。

外部委員の御意見

佐々委員（くらしとバイオ21）：

つながるというコンセプトについて、地域コミュニティへの繋がりとは？どのようなものを想定しているか？たとえば猫の里親探しにつなげて地域のコミュニティを形成した例もある。

やはりいつも営業していることが望ましいのでは。

学校の玄関としての役割と、居間としての休む場としての役割。

運営については、三鷹ではシニアの人のための企業化計画促進の例がある。老人の宅配弁当など。

女性の学び直しの点から、卒業生の女性をフルタイムは難しいと思うがカフェに採用するなど考えられる。活動の基点としての利用の可能性を感じる。

渡辺委員（データテクノロジー）：良いプレゼンだったが、来年どうなっているのかが気になる。

近委員：学生のプレゼン良かった。ロゴ決定について大事に進めてもらいたい。

安藤委員（三和設計）：結果が残っていることが大切。最後に決めるためにどうするかを決めておく必要がある。コンセプトとは何か？空間設計10年くらいやっているが悩んだ。テーマとコンセプトは違う。テーマはタイトルであり、コンセプトは概念である。コンセプトがずれないことが必要。

とんがりかわいい、つながるひろがるどちらがコンセプト、テーマなのか？

物を配置するだけでなく、たとえば中央にある階段をうまく使うとか、柱や窓の利用についてあまり考えていない。前回の議事録でコミュニケーションという言葉がでていますが、人と接することで仕事は進む。伝えていくことが必要。

立田委員（理研）：前回よりも進んでいるイメージである。企業連携もあり具体化している。

濱委員（保護者）：プレゼン大変良かった。視覚的に訴える表現が大切で、実践的学習ができていると思う。エントランスの脇にカフェはホテルでもある。学科を超えた取り組みであり、経営的採算、外からの視覚的影響など考えてチャレンジしていると思う。これからの展開、今後は楽しみ。

奥山委員（保護者）：得意分野を生かして学んでいる。オープンにあたって運営という課題がある。組織を作ってこれに当たっていくことが必要と思う。

樋口委員：いろいろな学科があり、決定まではトラブルがあったと思う。

三上校長：トラブルだらけである。夏休み中有志であつまって活動していたが、連絡がつかなくなったり共同作業がうまく進まなかったり、教員にもいろいろな意見があり、情報伝達がしにくいときの進め方には苦労した。やはり情報の共有が問題。

青木委員（保護者）：全体把握できなかったが、学生と教員との間の情報の共有が課題と思う。

中山委員（イプシロン）：アンケートでロゴというのが少し気にかかる。ロゴマークのワークショップで最後に一つに絞られるが、話し合いや投票で決めるときにどうしてもナアナアになる。そうして決めるとコンセプトが伝わりにくくなる。

やはり作り手が明確な意思を持って決めることが必要。

最後にコンセプト、気持ちを残しておくべきで、終了後よく見つめなおすとよい。

あとは学生だから・・・という気持ちで作らないこと。これがあるとどこかしら詰めが甘くなる。

三上校長：ぜひ学生に伝えてほしい。

学生の中にどこまで浸透しているか？ 教員の中でもいろいろ意見がある。一教員の意見でバイアスがかかる。

佐々委員：玄関は窓口である。この辺の問題などは？

三上校長：委員会で解決したい。

学校側委員から。

井坂委員（情報）：RJP の中では情報処理の色が少しうすい。今回利用法について検討しているチリメンですが、例えばファイアーフォックスのモジュラが作っているモジュラゴンというスマホの回路に使われている。いろいろな人から意見をもらって作ったのがチリメン。このチリメンを組み込んだものを、カフェをスタートとして様々な用途に利用できないかと考えている。

松田委員（ゲーム）：当初ゆったりしたというコンセプトであったが、雰囲気が変わった。よりスタイリッシュなコンセプトでカフェでのゲームを利用考えている。

野上委員（建築）：CAD での図面作成、Shade、3D-CG 等の作成など、学んだ内容の実践経験となった。

大江委員（バイオ）：今回オリジナルブレンドを中心にメニュー開発を行っているが、学生はまだモノづくりの面白さを感じていない。コーヒーからリラックス、ストレス低減という方向性で、学びのストレスを低減するものの開発検討につなげたいと考えている。

高山委員（インテ）：レイアウト図面、CAD、Shade そしてプレゼン、さらに椅子の製作なども含め学生は学習で学んだことが実際に活用できている実感を得られたと思う。（高山委員：インテ）

宮川委員(web)：ロゴマーク設定については担当した一年生は大変そうだった。3回ダメ出ししている。web 上にアンケートを作成するなどいろいろ工夫している。プレゼンでは思いがあまりしっかり出ていないように感じた。選ばれなかった案についても伝えるべき。学科としては広報担当したが、イベントの告知や提案などさらに進める。

今野委員（環境）：ごみや廃棄という点からの検討を進めたが、光、音、熱に関しても模索中である。

事務局：お知らせ

①2月13日カフェオープンの予定。イベントを検討している。詳細は後ほどご連絡する。

②2月18日 第三回目の会議開催予定

13：30～17：00 各科の優秀卒業研究、卒業制作の発表を行いますので、評価者としてご参加お願いいたします。

議長：以上で閉会といたします。

終了後コメント

佐々委員：3月18日の評価の時、漫然と聞いてしまうと「よかったです」といった感想になってしまうので、評価票で点数付けできるとよいと思う。評価票の設定をお願いしたい。

以上